

体験！模擬授業

栄養学科

2号館2F 222教室

成長期に必要な栄養と学校給食

～あなたにとって必要な食事量を知っていますか？～

准教授 黒河 あおい

日本人の食事摂取基準 2015 から、個に応じた食事の必要量を知り、栄養・運動・休養のバランスの重要性を確認しましょう！

看護学科

①5号館3F ②3号館3F 地域ケア室

①写真で見る胎児の成長とママの心身の変化

教授 笹木 葉子

胎児の成長を胎内写真で確認します。また、胎児を育てているママの腹部と内臓など母親の身体の変化など胎児と母親の深いつながりを学びます。また、母親の生活によって起こる胎児へのリスクや健やかな妊娠生活のポイント等も学びます。

体験学習は、新生児の心臓の音や呼吸音の聴取体験や新生児の抱っこやゲップのさせ方を体験し、赤ちゃんを優しく丁寧に扱うことの大切さを知って頂きます。

②「保健師の仕事を紹介します」

教授 播本 雅津子

保健師は主に行政機関で働く看護職です。赤ちゃんから高齢者まで、すべての住民の健康管理のお手伝いをします。保健師の保健指導は、一般的な「指導」とは違うもので、保健師と向かい合ったその時に、人々が自分の健康について立ち止まって考え、健康のために行動するための決意表明をする機会です。模擬授業では、保健師の保健指導の実際をご紹介します。

社会福祉学科

2号館3F 231教室

多様性時代のソーシャルワーク

講師 宮崎 理

「多様性」(ダイバーシティ：Diversity)は、現代のソーシャルワークを特徴づける言葉のひとつでもあります。人びとの多様性を尊重することは、社会福祉のあらゆる領域において求められています。本講義では、多様性をめぐって社会がどのような課題に直面しているのか、国際的な視野も含めて検討します。そして、多様性が尊重される社会をつくるために、ソーシャルワークがどのような役割を果たすことができるのか考察します。

社会保育学科

3号館1F 模擬保育室

自分のからだで考える

准教授 三井 登

本学科では、入学してから約2年間、野外での活動がたくさんあります。その中で、私が担当している授業を事例にして、学生たちがからだを通して道北の自然の中でどんな経験をしているか紹介したいと思います。火遊び、川遊び、尻すべり、キャンプ…、名寄に来たら自分次第でいくらでも変わることができます。そして幾人かは野生児に。野生児こそ、いまの子どもたちが求めている大人かもしれません。